

「研究」でくらしに笑顔を
明るい未来を切り拓く 世界をリードする魅力ある大学へ

なごや先端研究開発センター員 横山清子先生ご挨拶



副学長(産学官イノベーション)
なごや先端研究開発センター員

横山 清子(Yokoyama Kiyoko)

なごや先端研究開発センターは、令和5年12月に発足され1年が経過しました。「卓越研究グループ支援事業」や「国際的な共同研究推進のための派遣・招へい支援プログラム」等において採択事業を決定し、実働を開始しております。また、名古屋市と連携した「共創まちづくり研究推進事業」では、幅広い分野から多くの申請があり、その中から50課題が採択され、行政課題や地域課題の解決を目指して名古屋市と連携した研究活動を推進しております。

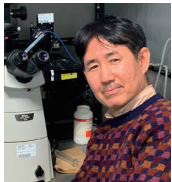
センター員として力不足でございますが、少しでも先生方の研究推進のお手伝いのでできれば幸いと思っております。

研究力強化に向けた取り組み ①「卓越研究者招へい」事業

概要

極めて高い研究実績を有し、外部研究費の獲得が継続的に見込まれる研究者を特任教授として招へいし、本学の研究領域の拡大・高度化、そして更なる外部研究費の獲得を進め、本学の研究力強化につなげることを目的とした制度です。

令和6年4月より、なごや先端研究開発センターの特任教員として**富永真琴**先生にご着任頂きました。



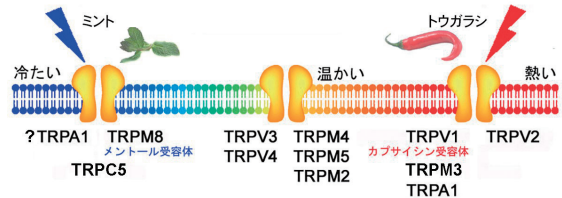
なごや先端研究開発センター
特任教授 富永 真琴(Tominaga Makoto)

医学部卒業後、循環器内科医を経て、大学院で電気生理学を学ぶため生理学講座の門を叩きました。大学院修了後、恩師が生理学研究所に異動されるのを機に、臨床を辞めて基礎医学の道に進むことを決めました。生理学研究所で3年間助手を務めた後、カリフォルニア大学サンフランシスコ校のDavid Julius教授の研究室に留学しました。初仕事は、パッチクランプ実験台の作成でした。遺伝子クローニングされたカプサイシン受容体TRPV1の機能解析を自作の実験台で行いました。

1999年に帰国して「TRPチャンネルによる温度センシング」の研究を始め、その後11の温度感受性TRPチャンネルが発見され、温度感知の研究は大きく進みました。三重大学や生理学研究所等で、思うままに温度感受性TRPチャンネルの研究を進めることができ、また新学術領域研究「温度生物学」の代表を務めることもできました。



温度感受性TRPチャンネルの発見によって2021年に
David Julius教授はノーベル生理学医学賞を受賞しました。



2023年度から「温度感受性TRPチャンネルの冬眠への関与の研究」を推進しており、2024年になごや先端研究開発センターの特任教授として着任し、岩田萌特任助教と共に研究を推進しております。素晴らしい共同研究者、幸運に恵まれて今があると思っています。ただひたすら朝から晩まで研究に没頭してきました。みなさんには、「努力すれば道は開ける」と伝えたいです。

富永先生の研究室HPはこちら



公募状況

Check!!

対象者	事業内容	募集期間	掲載	QR
臨床研究を行う方	臨床研究の実施奨励(若手臨床研究奨励制度) 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に該当し、本学の医学系研究倫理審査委員会(IRB)にて承認された臨床研究を新たに主導的に実施する場合、 <u>研究費(15万円/件)</u> を支援します。	令和6年度分 2月~3月	市大病院HP ホーム > 診療科・中央部門紹介 > 中央部門 > 臨床研究戦略部	
教員	研究支援員制度の拡充 出産・育児・介護等により研究時間の限られた研究者の研究活動を維持・促進することを目的として、研究補助や事務補助を行う <u>研究支援員</u> を配置します。	令和7年度分 1月~2月予定	(学外向け)ホーム>ダイバーシティ>女性研究者支援&ポジティブ・アクション>研究支援員制度	

公募要項等をよくご確認願います。

研究力強化に向けた取り組み ②「研究成果顕彰制度」

概要

論文の引用評価指標で顕著な業績を収めた者に対して表彰を行うことにより、本学の学術研究の進展を図る制度です。

①卓越論文の表彰：学術雑誌の評価指標であるCiteScoreが上位の論文に対し、研究奨励費*を配分
責任著者CiteScoreの値×3万円、共著者CiteScoreの値×1万円

②国際共著論文の表彰：国際共著論文の執筆者に対し、研究奨励費*を配分 責任著者10万円、共著者5万円 ※上限等制限有

卓越した論文、国際共著論文の著者に対し、研究奨励費を配分

令和6年度は表彰件数(延べ) **293件** 総額約**2,500万円**を配分

①卓越論文の表彰

所属	表彰件数(延べ)			配分額(万円)
	責任著者	共著者	計	
医学研究科	15	48	63	1,209.5
薬学研究科	3	2	5	148.2
経済学研究科	1	1	2	36.3
看護学研究科	-	2	2	20.6
理学研究科	1	1	2	125.3
総計	20	54	74	1,539.9

②国際共著論文の表彰

所属	表彰件数(延べ)			配分額(万円)
	責任著者	共著者	計	
医学研究科	24	153	177	712
薬学研究科	2	11	13	51
経済学研究科	1	1	2	10
人間文化研究科	-	1	1	5
芸術工学研究科	2	2	4	30
看護学研究科	1	3	4	22.5
理学研究科	5	7	12	77.5
データサイエンス学部	2	4	6	37
総計	37	182	219	945

表彰者にインタビュー

Pick Up!!

① 卓越論文の表彰



理学研究科
教授 中務 邦雄

研究成果を論文として報告することは、私たちの最も重要な仕事の一つです。しかし、掲載料の高騰が止まりません。本顕彰制度は、さらなる論文出版を後押ししてくれるものであり、励みにもなりました。感謝いたします。

② 国際共著論文の表彰



芸術工学研究科
教授 辻村 誠一

この度、研究成果顕彰制度にて国際共著論文として表彰いただき、深く感謝申し上げます。今後も国際共同研究を推進し、更なる成果を通じて学術発展に貢献できるよう努力を続けてまいります。



医学研究科
環境労働衛生学分野
准教授 伊藤 由起

この度は「卓越研究成果表彰」をいただき、大変光栄に存じます。いただいた研究奨励費は、まだ構想段階だった研究テーマに用いさせていただきます。次年度以降も表彰されるよう、研究に精力的に取り組んでいきたいと思っております。



経済学研究科
准教授 坂和 秀晃

国際共同研究が盛んになっている状況の中で、国際共著論文の表彰を頂き、非常に嬉しく思います。今後も、国際共同研究のみならず、インパクトのある研究成果を出版できるように研究活動を続けていきたいと思っております。

積極的に国際共著論文の投稿を!



豆知識コーナー「CiteScore」って何??



CiteScoreは、学術雑誌の影響を示す指標のひとつです。CiteScoreが高いほど、その学術雑誌のパフォーマンスが良いと評価でき、投稿雑誌の選択に役立ちます。

研究力分析ツール(SciVal)で調べることができますので、気になる方は右記にアクセス!

